

「蓬原小学校の蓬原中野棒踊り伝承活動の取組」

1. 学校名	志布志市立蓬原小学校
2. 学年・人数	3・4・5・6年生 51人
3. 日時・場所	(1) 練習の日時・場所 令和6年9月18日(水), 26日(木), 10月3日(木) 蓬原小体育館, 及び運動場
4. 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能, 伝統行事, 伝統工芸品について	(1) 名 称 蓬原中野棒踊り (ふつはらなかのぼうおどり) (2) 由 来 1897 (明治30) 年頃から, 旧有明町蓬原中野で踊り継がれてきた。旧薩藩が士民の士気を盛んにする目的で, 棒術の技法を踊りに組み立てた物と言われている。 (3) 構成等 本来は, 短尺棒と長尺棒の2部構成であるが, 運動会では, 三尺の短尺棒の踊りを, 保存会の方の生の唄で踊る。 その際, 山と呼ばれる飾りを使う。
5. 文化財伝承・活用の取組において地域との連携や工夫した点等	10年ほど前から, 小学校・校区合同運動会で, 小学生による棒踊りが披露されるようになった。毎年, 運動会前に蓬原中野棒踊り保存会が出前授業を行い, 指導をして頂いた。
6. 取組の様子 (練習状況, 発表の場等)	体育館で練習 運動会で披露
7. 感想・意見 (参加児童生徒・保護者・保存会・教員等)	【児童】 ・皆と動きや声を合わせられて, 上手に踊れた。 ・衣装を着ると気持ちが引き締まった。 【保存会】 ・子供たちが郷土芸能を引き継いでくれるのでうれしい。 ・子供たちが踊っているのを見ていると元気をもらう。